

科目名称：	アート演習	
担当者名：	今井 久美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
本授業は、室内装飾をはじめ、宣伝用ディスプレイ、冠婚葬祭、祝い事、贈り物など、商業空間、公共空間、日常空間、生活のあらゆる場面に適応する文化的教養を高めることを目的とします。		
授業の達成目標・到達目標		
授業の達成目標については毎回の授業ごとにレポートを提出することにより、理解度・習熟度を測ります。 ・ラッピング：講師の指導を受けながら基礎を学び、包むということを理解し、実際に包めるようにします。 ・フラワーデザイン：季節の花やトレンド資材を用いて、講師の指導を受けながら、実際に基礎となる花形を生けます。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)			70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 フラワーデザイナー	《経験年数1》 27年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ラッピング	正確に包み。受け取った時に心弾む様なアレンジを加えられる	中身の内容とTP0を踏まえ、用紙のサイズも正確に包む	中身と用紙のサイズを測り、包む事ができる	中身に対しての用紙サイズが取れているか。角や辺を意識できているか。
フラワーデザイン	装飾としてのデザインを理解し、トレンドを意識したアレンジができる	季節や行事にふさわしい花材選び配置ができる	飾る場所。器に見合ったサイズに花材を切り分けられる	花材の特性を理解し、主材を選べているか。
グループワーク	製作中の機材、資材使用や相互作品鑑賞のマナーを持って意見交換できる	自分の制作を行いながら準備や後片付けなども協力してできる。	相互の作品について相乗効果のある意見交換ができる	作品制作に夢中になるあまり、機材の扱いや周囲の片づけがおろそかになっていないか。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回	オリエンテーション（コラージュ練習）	本シラバスを精読する。演習に必要な道具等の説明を受けて準備をする。	20分
第2回	実技 ラッピングの基礎①（キャラメル包装）	①キャラメル包装 配付資料を確認し復習	20分
第3回	実技 ラッピングの基礎②（リボンワーク）	②リボンワーク 配付資料を確認し復習	30分
第4回	実技 ラッピングの基礎③（回転包装）	③回転包装 配付資料を確認し復習	30分
第5回	実技 ラッピングの基礎④（手作りの熨斗袋）	④手作りの熨斗袋 冠婚葬祭に必要な知識の復習	30分
第6回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎①（ミルフールル）	①ミルフールル 花の美しい角度・葉の重要性を認識し給水など、保持することも学修	10分
第7回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎②（クリスマスリース）	②クリスマスリース 土台制作 行事として、また商業イベントとしてのクリスマスを考える。	30分
第8回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎③（クリスマスリース）	③クリスマスリース デコレーションを考える。	30分
第9回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎④（ハーバリウム）	④ハーバリウム 空間アレンジメントを考える。	20分
第10回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎⑤（コサージュ）	⑤コサージュ ワイヤークの復習しておく。	30分
第11回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎⑥（お正月飾り）	⑥お正月飾り 日本の行事・祝儀について考える	20分
第12回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎⑦（トピアリー/レジン応用）	⑦トピアリー器制作とパーツをレジンで作る	30分
第13回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎⑧（トピアリー デコレーション）	⑧トピアリー デコレーションの準備	30分
第14回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎⑨（ミニチュアアレンジメント）	⑨ミニチュアアレンジメント プリザーブドフラワーの扱い	30分
第15回	実技・グループワーク フラワーデザインの基礎⑩（作品制作）	①～⑨で修得した技術を用いて花の役割・色の持つイメージ等の基本確認を予習。作品制作の準備	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 毎回の実技課題・レポート等の提出で70%評価します。 授業への貢献・積極的関与を30%で評価します。
課題に対してのフィードバック
毎回の授業終了時に提出された課題(作品)について講評する。
教科書・参考書
・講師作成プリントを配付 ・実技用の材料も講師が準備します。（但し、材料費35,000円は別途集金）